

話題がいっぱい /  
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



### 5/27 学卒者の就活支援協力を呼びかけ

市内の新規学卒者の就職活動を支援するため、那覇公共職業安定所の山城所長と松本市長が、浦添商工会議所の又吉康多郎会頭を訪ね、学卒求人票の確保と求人票の早期提出を企業に働きかけるよう要請しました。山城所長は、「県内企業の求人票の提出時期が全国に比べると遅いため、学生に情報が届くのが遅れ、就職活動の動き出しが遅くなる。その分、企業とのミスマッチを引き起こし早期退職につながってしまうので、企業の協力が不可欠だ」と話しました。その後の意見交換で、又吉会頭は「依然として人手不足感はある。企業と連携して求人票の早期提出を進めることで、ミスマッチを減らし、課題解決に向けて取り組んでいきたい」と応じました。



### 5/26 第62号 輝くてだこ市民賞

今年2月に神奈川県で開催されたハワイアンフラの日本大会「Hula`Oni E Japan2025」の古典フラ部門で優勝した砂川みなみさん(仲西在)、神谷杏奈さん・垂莉珠さん親子(仲間在)が第62号となる輝くてだこ市民賞を受賞しました。

3人は「ハーウフラ・マーナイヤカラニイヤーパナ」というマウイ島に本校を持つフラグループに所属しており、今回日本で上位レベルのフラ大会で見事な成績を収めました。

受賞について砂川さんは「多くの人の関わりのもと、大会に出場できたことに感謝します」と話し、神谷杏奈さんは「子どもがいながら、働きながらも趣味に挑戦できることやフラの良さを広げていきたい」と感謝と抱負を話しました。3人は8月末にハワイのオアフ島で開催される世界大会にチームで挑みます。



### 5/18 突然の警報にも自分の身を守る行動を

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が実施されました。訓練は、警報が鳴った際に施設等管理者の誘導により、てだこ広場から施設内に入って頭を守る姿勢を取るというもので、関係者56人、市民ら32人の総勢88人の参加がありました。参加者からは「今後も訓練は実施してほしい」、「もっと広く市民に呼び掛けた方がよい」などの声がありました。

午後からは、(一社)まちづくりうらそえの大城喜江子氏による勢理客地域防災の取り組み紹介などの6つの講演やカレーの炊き出しでのアルファ化米の試食、足湯体験などの防災フェアも開催され、延べ250人がフェアを楽しみました。

### 副市長が決まりました

第213回浦添市議会定例会において、比嘉氏の副市長就任が決定しました。



### 比嘉 克也氏

(昭和41年生)

令和元年 浦添市市民部経済観光局長  
令和2年 浦添市財務部長  
令和5年 浦添市総務部長



### 5/29 「語りあい・笑いあい・助けあい」を合言葉に

第59回浦添市老人クラブ大会がアイム・ユニバースてだこホールで開催され、25の老人クラブの会員や来賓など、約420人が集結しました。大会では、誰一人取り残すことなく支えあう地域社会を築き、「語りあい、笑いあい、助けあい」の活動を広げ、老人福祉の一層の向上に寄与することを目的とした大会宣言を採択しました。また、特別な功労を認められた2つの老人クラブ、27個人に対する表彰も行われました。浦添市老人クラブ連合会の比嘉愛子会長は、「人生百歳時代と言われている今日、高齢者の役割はますます大きくなっています。高齢者自身の人権のためにも、誰一人取り残さない活動を広げていくことが求められています」とあいさつしました。



### 5/27 55周年記念キャッチフレーズ決まる

7月1日に浦添市市制施行55周年を迎えるにあたり、公募をしていたキャッチフレーズが決定しました。

多数の応募作品の中から最優秀作品として選ばれたのは、屋富祖在住の池田菜々さん作『パトン繫いで55年 これからも全力浦添!』です。作品の経緯について池田さんは「私自身は生まれも育ちも東京ですが、浦添出身の主人や主人の家族と浦添で過ごすことができていること、浦添に住んでいる方だけでなく市に関わっている方々が、この55年を繋げてきてくれて今があるんだという思いを込めました」と話しました。松本市長は「すばらしいキャッチフレーズを考えたいただきありがとうございます。多くの人、場所にこの言葉が届いてほしい」と感謝状と記念品を贈呈しました。



### 5/23 中国・泉州市の伝統文化を感じて

5月23日から6月23日までの間、「中国・泉州市文化交流展」が浦添市美術館で開催されました。

展示会の開会式では市教育委員会の銘苅健教育長が挨拶を行い、「泉州市との新たな文化交流になるものだと大変嬉しく思っております。非常に貴重な機会であり、多くの市民県民にご覧いただき国際交流の発展に寄与したい」と期待を寄せました。また泉州市人民政府副秘書長の洪永佳氏は「展示会にご尽力いただいた方々に深く感謝申し上げます。浦添市民に泉州市の魅力を知っていただきたい」と感謝と友好の意を述べました。

また、開催期間中の金曜の夜には泉州市提供のランタンが美術館を照らしました。



### 5/18 「クリーンデーINうらそえ」で綺麗な都市へ

美化意識の向上と住みよい都市づくりを目指すため、市内41自治会を中心に「クリーンデーINうらそえ」が行われました。

浦添市民憲章推進協議会では、市民憲章にある「わたしたちは、自然を愛し、みどり豊かなまちをつくります」を実施するため、毎年5月の第3日曜日を活動の日と定めて一斉清掃を実施しています。

活動に参加した親子は「子どもといっしょに街をきれいにできるいい機会になった」と話し、家族で地域の美化活動に積極的に取り組みました。地域の多くの人に参加し、中には市内企業が参加する自治会もあり、活動が地域交流のきっかけにもなりました。